

学校だより

四中の風

令和6年度
第9号
R6.12.3
文責：校長
安達正治

合唱コンクールを行いました！



校内合唱コンクールを去る十一月一日(金)にプラバホールを会場に開催しました。これまでの取組の成果の発表の場として、全校生徒の前で歌う緊張感が味わえたり、違う学年の合唱を視聴して刺激を受けたりするなどできました。特に十月下旬より終礼時間を長くし、各学級での練習時間を確保、合唱委員の生徒を中心に熱心に練習を行いました。校内に合唱の声が溢れ、毎年のことながらいいムードが漂いました。ただ、学級によって順調な時や苦勞した時など、コンクール当日までいろいろあったと思います。その中で思いやりや協力、責任感、忍耐など様々なことを学べたと思います。そして、コンクール当日には、各クラスとも例年に負けない素晴らしい歌声を会場に響かせていました。

この合唱コンクールの取組が、生徒たち一人一人の成長や生徒同士の絆を深めることにつながったと思います。

保護者の皆様にはユーチューブでの公開、お弁当の準備等、ご理解とご協力をいただきましたこと、厚くお礼申しあげます。

二年生 修学旅行

楽しむところは楽しみ、学ぶところではしっかり学ぶ『楽学両道』をスローガンとし、「人を思いやり、協力して時間通りに行動できる集団になる。」こと等をねらいとして、十一月十三日～十五日に修学旅行に出かけました。

一日目はクラス別研修での企業研修で、大阪ガスのガス科学館、カップヌードルミュージアム、NHK大阪に行きました。二日目は、京都市内での班別自主研修です。三日目は、ユニバーサルスタジオ・ジャパンで楽しみました。名所は国内外の観光客で大変混雑していまし



たが、ほぼ計画通りに研修を実施し、二泊三日の充実した修学旅行にすることができました。経費の負担や送迎など、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

以下、生徒の感想です。

〈生徒の感想より〉

○初めての場所、バスの移動も色々間違えて大変な京都班別自主研修だった。でも、困ったときに班のみんなで話し合いながら研修をしたのは楽しかった。

主研修を成功させることができたことだと思う。今までの中学校生活で一番の思い出になった。

○自分が成長できたと思うことは、みんなと協力すること、自主的に動くことだった。これをこれからの生活に生かしていきたい。

○友達と協力して準備したレクリエーションが、当日とても盛り上がり、やりがい、達成感を感じることができた。

○終わってみるとあつという間の三日間だったけど、全部の時間がとても楽しかった。そして、たくさんのことを学べたと思う。

人権に関する授業公開、人権集会

十一月二十九日(金)に実施した人権教育に関する授業公開に多数

ご来校いただきありがとうございました。

公開した授業は、一年生が「招かれなかったお誕生会」、二年生は「字を識るということ」北代色さんの生涯を通して、三年生は「峠」でした。各学級で資料をもとに人権について考え、自分はどうあるべきか考えを深めることを目的に実施しました。

今後、生徒会役員の企画による「人権について考える学級活動」を実施します。主なねらいは「言葉」を通して人権について考えることです。生徒会の役員では、今の



四中の人権課題について考え、「言葉」というキーワードに行きつきました。今年の生徒会スローガンは『One and Only』です。一人一人が唯一無二の存在であり、言葉で傷つけられることのないようにしたいという思いを「人権について考える学級活動」の時間に全校生徒で共有し、みんなが気持ちよく、楽しく過ごせる四中になっていくことを目指すものです。

いじめ等、不適切な事案に丁寧に対応することと並行して、このような人権について考える活動を通して、生徒の人権意識、人権感覚を高めていきたいと思っています。

一年生「性に関する講演会 いのちの楽習」

十一月二十六日(火)に助産師の中山様、田中様を講師にお迎えし、性に関する講演会、「いのちの楽習」を実施しました。

妊娠の経過や思春期の体の変化、また、それに伴う性に関する悩み事などを、スライド資料をしたり、妊婦さんの体験を試みたりして、楽しくわかりやすく学びました。

以下、生徒の感想です。

〈生徒の感想より〉

○思春期である自分の体と心はいろんな変化をして成長していることもわかりました。成長の仕方は、人それぞれだから、自分のペースでいいです。悩みができたら、相談できる人に助けてもらうことも大切だと分かりました。

○赤ちゃんの人形を抱いた時、意外と重くて、自分もこんな感じだったのだと知ることができました。妊婦の方を大切にして、みんなで助けて命を大切にしようと思いました。

○自分が産まれてからこれまでの間、助けてもらった人に感謝をすることが大切だと思いました。

○妊婦さんはとても生活しづらくて、大変なことがあるから、バスや電車で席を譲ってあげたら、みんなが笑顔になれると思いました。

○自分が生まれたことがどれだけのすいことか。お母さんがどれほど苦勞して生んでくれたか。そして自分の体のこと、これからの成長のことなどいろいろ知ることができました。人を思いやり感謝したりすることを忘れずにいようと思えました。



令和六年度第二回学校運営協議会

第二回学校運営協議会を行い、五名の委員の方にご参加いただきました。学校運営協議会の概要については、次のように報告いたします。

記

○日時 令和六年十一月二十九日(金) 十八時三十分～十九時四十分
○会場 松江市立第四中学校 図書館

○議事の要旨

- 1 生徒のよい面、改善面について情報交換
- 2 今後の課題を共有し、学校の取組について意見交換

○会議経過

【学校から二学期の生徒の様子より】

- ・全中陸上出場、全中高飛込み八位入賞をはじめ、県総体に多数出場、中国大会に参加した部もあった。また、松江市新人大会に二年生中心のチームで参加し、善戦していた。
 - ・県駅伝大会では女子三位、男子八位入賞を果たした。陸上部以外の生徒も参加して成果をあげることができた。
 - ・体育祭や合唱コンクールなどの行事を中心に生徒会執行部の生徒が活躍した。これまでの四中では無かった演劇的な要素も取り入れながら、全校生徒が積極的に活動に参加したくなる雰囲気醸成し、学校への所属意識も高まっていると感じる。
 - ・各公民館主催の活動に中学生のボランティア活動の機会を与えていただき感謝している。
 - ・本年度の全国学力学習状況調査が三年生を対象に、国語と数学、意識調査が行われた。国語の平均正答率は59%（松江市58%）、数学が51%（松江市51%）であった。
 - ・授業や学校行事、部活動等への取組の様子から、学校全体としては前向きに頑張ろうとする生徒が多いことを感じる。
- 【委員より】
- ・納涼祭や公民館祭り、子どもを育てる会の行事など、中学生の積極的な参加、活躍ぶりには目を見張るものがあった。ボランティア活動を通して、人懐こい生徒が多いと感じる。
 - ・三年生の職場体験では、どの生徒もいきいきと頑張ることができ、大きな成果があった。
 - ・子どもたちのSNSの使用について、大変心配している。学校と保護者が同じ方向を向いて、子どもたちを見守り、指導することが大切であると感じる。
 - ・地域から学校に寄せられる要望に対応するため、かつてあった地区生徒会や地区PTAがあった方が良くと感じることがある。地域と学校がより良い関係となるよう、検討してほしい。
 - ・津田の里の施設が、自習室として三年生の生徒に開放されることになった。生徒に周知して必要な生徒の利用を促して欲しい。

令和六年度ふれあいフェスティバル



十一月二十八日(木)に市内中学校特別支援学級交流会として、ふれあいフェスティバルが市民活動センターで行われ、本校からも四葉学級の生徒が参加しました。市内中学校特別支援学級が午前と午後の二グループに分かれ、交流を深めること、楽しい会にすること等を目標に、全体でのゲームや合唱、各学校の発表などを行いました。四中の発表は自立活動と作業学習を取り組んでいる内容で、良かったことや苦労したこと、勉強になったことなど、スライドを使って分かりやすく発表することができました。

三年生 介護体験学習

三年生では家庭科の学習内容の一つとして、介護体験学習を行いました。まず、十一月六日(水)に津田の里より講師の方をお迎えし、また、松江農林高校の生徒さんにも来ていただいて、福祉の仕事について学年全員で学習しました。その後、学級ごとに車いす体験を行いました。生徒たちは、福祉の仕事の大切さを感じとったり、困っている人がいたら積極的に関わろうとする気持ちをもったりしてきました。お世話になった関係者の皆様、ありがとうございました。

以下、生徒の感想です。

〈生徒の感想より〉

○人を助けることで自分もうれしい気持ちになるし、町がもっと豊かになると思いました。
○体が不自由な方のために、こういう場面で、こういう支えが必要なのか、知っているべきだと感じました。
○普段乗らない車いすに乗るのは楽しく感じたけど、乗らなければいけない人にとっては大変だと感じました。声かけや行動はすぐにできないかもしれませんが、「大変」だということを心に留めて過ごしたいし、周りを見たいと思います。

第十九回島根県中学生創造アイデアロボットコンテスト大会

十一月十日(日)に玉湯学園で開催された島根県中学生創造アイデアロボットコンテスト大会に本校の科学部から九チームが参加し

ました。この大会は、基礎、制御、応用の三部門で競い合いますが、四中が三部門の一位を独占しました。そして、四チームが中国・四国大会の出場権を得ました。おめでとうございます。

なお、中国・四国大会は松江市で十二月八日(日)に行われます。以下、主な結果です。

【競技の部】

○基礎部門 一位 「ウルトラマスカット」(田北 池野)

○制御部門 一位 「今鹿(なうしか)」(渡辺 岡田)

四位 「郭丸(かくまる)」(渡部 竹谷)

○応用部門 一位 「うるたんのしもべ」(山根 岩原 内田 山崎)

【審査員特別賞】

○ロボコン大賞・応用部門優秀賞 「うるたんのしもべ」

○基礎部門優秀賞・審査員特別賞 「ウルトラマスカット」

○制御部門優良賞 「今鹿(なうしか)」

島根県人権啓発ポスターコンクール

美術部の活動として自主的に取り組んだ生徒の作品を島根県人権啓発ポスターコンクールに出品しましたが、以下のように受賞者がありましたので、ご報告いたします。十一月一日(日)に安来市アルテピアで実施された「しまね人権フェスティバル2024」で表彰式がありました。その様子はホームページで紹介しています。

受賞、おめでとうございます。

○中学生の部 最優秀賞 三年 東 菜緒

しおかぜ駅伝 松江チームに四中生参加！

十二月八日(日)に行われる第三十三回浜田―益田間駅伝競走大会に陸上部三年の日野夏愛さん、一年の日野颯汰さんが松江チームの一員として参加することになりました。また、陸上部顧問の永井教諭は雲南三掛吉チームで出場します。頑張ってください！

お知らせお願い

○学校評価保護者アンケートについて

例年二学期末に実施している学校評価保護者アンケートについて、より多くの保護者の方にアンケートに参加していただくこと、アンケート結果の迅速で正確な集計を行うことなどを目的とし、今年度もGoogleフォームを使って行います。保護者の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

保護者アンケートについては、後日、学校よりすぐるメールを配信いたします。ご回答の程、よろしく願います。

